

加工～放電加工： 概要

職務遂行のために必要な知識

（概要）

形彫放電加工機またはワイヤー放電加工機を用いて、工業製品を構成する精密部品やその製造に必要な金型などを製造する仕事。なお、加工とは、原材料や部品等の形状・性質を変えることで要求機能を与える作業のことであり、放電加工とは、放電現象を利用した放電加工機により複雑かつ高精度な部品の加工を行うことをいう。

（仕事の内容）

放電加工の仕事は、大別すると形彫放電加工機またはワイヤー放電加工機に分かれ、それぞれの工作機械によって作業内容が異なる。現在ではいずれの機械もほぼ NC 化されており、ほとんどの操作は CRT 操作盤を使って行われる。NC 機の操作では、機械の運転（放電加工作業）に先立ち、加工順序や研削条件の決定の結果をコントロールパネル（操作盤）にプログラミングするという段取りが必要となる。放電加工の仕事は、その製品の種類・材質や生産方式の違いによって異なるが、概ね一人作業によって単数または複数の工作機を運転することが多い。

（求められる経験・能力）

- （１） 入職に際して、公的資格は特に必要とされない。中学や高校を卒業してすぐに入職する者が中心であるが、最近では未経験の中高年者が他職種から転職してくる場合もある。
- （２） 放電加工の技能者として必要な特別な能力や条件は必要ないが、普通の体力を持った人で、機械操作やモノづくりに興味を持った人に向いている。また、機械操作がほとんど NC 化されているため、パソコンなどの初歩的な知識があることが望ましい。
- （３） 技能検定（放電加工）の資格（特級、１級、２級）を取得することで技能が社内で認められて地位が向上することが多い。転職時にも、資格保有者は有利である。

（関連する資格・検定等）

技能検定制度 （職種：放電加工） 特級 １級 型彫り放電加工作業、数値制御型彫り放電加工作業、ワイヤ放電加工作業 ２級 （１級に同じ）